

# 安藤忠雄氏を表敬訪問

## 招聘の建築・芸術海外研修生



安藤氏を囲んで海外研修生

訪問したもの。

行ってきた。

招聘事業は、「国際建築家賞」を受賞した安藤氏が大阪府に寄贈した同賞の副賞三千万円を基本財産に、交流財団が海外で建築などを専攻している若者を大阪に招き、企業研修などを通じて日本の建築や歴史、文化等への理解を深め、母国と日本・大阪との友好の架け橋となることを目的に平成五年度から毎年、実施されており、昨年度までに一九カ国二〇九人を招聘している。

また、アジアの建築にド、インドネシア、タイ、中国、ネパール、バングラデシュ、フィリピン、ベトナムからの八カ国八人の学生などで、研修生は、ホームステイなどをしながら、受入先企業である大和ハウス工業、林組、竹中工務店、銭高組で設計部門での実習や施工現場見学のほか、安藤氏設計の建築物視察を

懇談では、研修生からアジアをはじめ海外と日本の建築の違いや安藤氏が設計を始めた当時と現在の建築を取り巻く環境の変化等を質問。建築を取り巻く環境の変化について安藤氏は、「現在では建築とビジネスがセットになっている」とし、設計を始めた当初は、良い建築を創るために懸命に仕事をしていたとしながら、「今は世界中で建築が投資の対象にもなっている」と指摘。

大阪府国際交流財団に所を訪れ、安藤氏と懇談による「大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業」により来日した研修生の一行が十四日、大阪市北区の安藤忠雄建築研究

に賛同する安藤氏を表敬訪問した。安藤氏は、研修生は九月二十三日に来日し、それぞれ受入企業で研修を行う。今回招聘事業は、安藤氏を代表して、安藤忠雄建築研究に賛同する安藤氏を表敬訪問した。